



しながわ

第 66 号

社会福祉法人 佳松会
令和4年6月1日発行



食で笑顔に。
手間と工夫と
心をこめて。

「科長の郷」厨房風景



新年会



オータムフェスタ



クリスマス会

料理への拘り

毎年行われる行事。今年は何んな料理を提供しようかと、毎回楽しく頭を悩ませています。献立を考える中で大事にしているのは、利用者の皆さんに普段と違った料理と分かっただけ「見た目」や「美しさ」「旬の野菜や魚」を使い、新しい季節のおとずれを感じていただくことです。さらに、利用者の皆さんの好きそうな一品もさりげなく入れるなど、チャレンジ精神で新しい料理に取り組むことです。

これからも皆さんに大いに喜んでいただける心のこもった料理を提供できるよう厨房職員一同頑張っていきたいと思っております。



コロナ感染対応中のグループホームでの過ごし方

皆さんの日中活動の場である科長の郷がコロナ陽性者の療養施設となったことで出入りができず、またコロナ禍でスーパーへのお出かけもできず、食事、入浴以外は自室で過ごされている時間が多く退屈な思いをされていました。

そのような中、世話人さん達は皆さんが安全にそして快適に過ごせるよう、例えば食事時、お弁当の蓋を開けたとき皆さんが「ワー、すごい」と感じてもらえるよう食材の切り方や彩りに工夫を凝らしたり、コミュニケーション不足を解消するためにそれぞれが興味を示されるような話題を考えて個別に声を掛けるなどに努めていました。

どれも
おいしそー♪



2月3日は毎年恒例の節分です。「鬼は外、コロナも外。福は内」と食堂のテラスから軒下に居る鬼に向かって皆さんの力強い豆まきに、鬼は「こんなにぶつけられたらそりゃ逃げますわ」と話していたそうな…。また、去年は124年ぶりに2月2日が節分となりましたが、今後も4年に一度は2日が節分になるみたいです。とても為になる豆知識でした。(節分だけに)



節分



お楽しみ支援



緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が数か月ごとに出され、府県をまたぐ移動は自粛要請されるなどコロナ禍は一向に収まらず、利用者の皆さんの楽しみである三田ワークキャンプへも2年間行けていません。こうした状況に、何か楽しい催しを提供したいと【盛付け対決〜うどん編】と銘打って、利用者の皆さんがそれぞれ好きなうどん(きつねうどん、わかめうどん、塩豚ネギうどん、肉うどんなど6品から)1品を選び、更にトッピング(えび天、野菜かき揚げ、鶏から揚げ、いか天、コロッケなど10品から)1品を選び、ご飯はオニギリかいなり寿司を選択して昼食を楽しんでいただくことにしました。皆さんそれぞれの写真を見ながらどれが美味しいかな、どれが多いかなと楽しみと悩みでなかなか決まりません。全員が決まったら職員が買い出しに急行、皆さんは畑ホールへ移動し昼食を楽しみました。

一番人気を科長のメニューに取り入れてもらえるというイベントを継続中です。





副主任からコロナ対応について

2月中旬より利用者に突然の発熱や咳症状が表れ、検査結果はコロナの陽性。日ごとに有症者が増え、居室をレッドとグリーンにゾーンニングし療養に専念していただきました。ほとんどの方が解熱剤や抗ウイルス薬により2～3日で平熱に戻ったのですが、決められた期間は療養の必要があり、自由な行動が制限されることがストレスとなり不穏になる方もあり、寄り添い対応してきました。

3週間程度で感染対応が終息しましたが、この間運動ができずに筋力が低下し歩行が不安定になった方もおられましたので、徐々にではありますがウォーキングを取り入れ、筋力の回復に努めているところです。



施設長代理より

「闘う」と決めた瞬間、こんなにも新たな人との繋がりが生まれるものか。私たちがここにいることを忘れずに「闘うツール」を供給して下さる方の多さに心を動かされる日々である。闘いの相手は新型コロナウイルス。物資不足、集団PCR、ワクチン接種、クラスター…何ひとつ繋がりがなくして乗り越えられたものはない。いつを振り返っても感謝に満ちた時が思い出される。今後、この誌面を通して感謝の気持ちをお伝えしていきたいと思う。

医務だより

2月中旬からコロナ陽性の診断を受けて始まったクラスター。約3週間の施設内療養でしたが、3月初旬をもって終息を迎えました。

感染初期は独立した建物(ソラホール)で隔離療養していましたが隔離療養によりソラホールのベッドの数が不足し、生活棟をレッド(陽性者)とグリーン(非感染者)にゾーン分離せざるを得ませんでした。

嘱託医と連携し、発症者には抗ウイルス薬・抗生剤を早期に服用することで基礎疾患等による重症化を回避、また解熱剤で苦痛症状が速やかに緩和できたと思います。

日頃より感染対策を進めながらも予測・警戒していましたが、オミクロン株の感染スピードは驚異的でした。大阪府庁感染症対策企画課から現地確認に来て下さった専門家のご指導と、対応職員の意見を分析しながら今後とも感染対策に取り組んでいきたいと思っています。

編集後記

僕の趣味はスニーカーコレクションです。欲しいスニーカーがレアなスニーカーの時は、十数店舗の抽選を申し込みますが、中々当選しません。こんなにスニーカーを愛しているのに当たらないなんてとても悲しいです。でも、ここで怯まないのが僕です。これからもチャレンジし続けます。 広報担当 小野

社会福祉法人 佳松会

http://kashokai.jp/

科長の郷

障害者支援施設(生活介護)

短期入所事業・日中一時支援事業

しながの舎

共同生活援助(グループホーム)

生活支援相談室しなが

基幹相談支援・計画相談支援

地域相談支援(地域移行・地域定着)・障害児相談支援

ホームページは
こちらから



篤志御礼<11月～3月>

敬称略・順不同

寄贈物品

今川敬貴、古藤捷二、中山正彦、今崎健、今崎英治、阪本正次、末吉美津子、岩田元夫、猪倉厚、舌間章二、翠田収、荻野有希、辻元清子、西川房子、三谷武夫、葉山保樹、上原秀夫、三尾美津子、片山昌子、坂上一成、富永達信、上田千由紀、村上殷愛、阪本喜久夫、大内茂博、福本栄治、橋本孝雄、望田昭博、近畿環境サービス、角田暁治、中山崇、細見接子、なにやわ、南大阪防災設備、テラカド、わたなべ鍼灸整骨院、春日薬局、好月堂、三栄基準寝具、コンフィア、奥田歯科医院、肉の松阪、イワタニ近畿、土井浩治、太子町役場、マザーズネット、トーエネック

寄付金

科長の郷保護者会、今川和美、上田美代子、米田昭、鳥羽幹雄、中山崇、近畿環境サービス